

地震大国の災害危機 いつも胸に！

はじめに、災害の被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

奇妙な揺れに驚き外に出たのは元日午後4時過ぎ。

NHK山内アナウンサーの強く避難を促す厳しい声が繰り返された時、12年前の東日本大震災の津波光景が目に見え、かんできました。能登と聞いてすぐに原発が気になり津波情報を注視しました。

志賀原発は後日、非常電源が停止されたとのこと。今後の再稼働は困難だと専門家は説明しています。海底活断層のあるこの地域は道路の寸断が激しいため、避難ができません。地震による原発事故後の漁業関係者からの不安も想像を絶します。



全国で徐々に再稼働を始める原発、地震大国日本は停止の方向を検討するべきだと思います。

今回はライフラインの復旧が大変とのことで長期間の避難が予想されます。国の支援で早期復興を願うばかりです。

続沖縄だより

名護に強制代執行決まる

前回普天間の友人からのオスプレイのお便りを紹介しました。その後はどうなのか、私も俄には信じがたく気になっていました。

聞くとやっぱり飛行停止になり、旧型のヘリが時々飛んでいる位で本当に静かになっているという。夕方になるとエンジン調整音で夕食時を邪魔していたが、それもなくなり市民生活に大きな安心と、基地が閉鎖されると「こうなる」という大きな希望を与えています。

この機会に日頃の災害対策を真剣に考えたいものです。

救急用リュックにはマスク、ティッシュ、タオル、下着、コップ、歯ブラシ、水、携帯トイレ、懐中電灯、時計、薬内容・連絡先の記入メモ、手袋は必要です。

「災害は忘れた頃にやってくる」をいつも胸に。

(3丁目 薄井百子)

しかし名護に新基地建設の強制代執行が決まり、名護の人々が今までと同じ思いをするかと思えば喜んでみられませんか。

新基地建設工事はマヨネーズ状の海底に杭を打つとても難工事です。どうしても阻止しなくてはなりません。

現地では「勝つまでは諦めない」と頑張っています。



滝沢 村端徳子

文芸欄 今月は俳句です

閉ざされて使われぬまま冬座敷

初詣願いはひとつ平和なり

飛び交いて戯れるごと寒雀

美ちこ

由美

幸代



1月

田村智子さん 共産党委員長に就任

「1月18日、日本共産党の第29回大会が開催され田村智子さん（58）が委員長に就任しました。

女性が委員長となるのは、1922年の結党以来、初めてです。委員長に選出された決意を問われた田村さんは、「切磋琢磨（せっさたくま）し日々勉強し、のびのび挑戦しながら委員長の役割を果たしたい」と発言。今大会の準備にかかわり、日本共産党の長い活動の歴史や理論的発展の土壌が耕されて、今の党の到達があると実感したとして「歴史や伝統を受け継ぎながら、党の発展・成長のために力を尽くしたい」と表明しました。

ファンクラブ総会 お知らせ

「日本共産党ファンクラブ」総会を下記の日程で行いますのでお誘いあわせてご参加ください。

日時 2月11日（日）
10時～12時

場所 多目的研修センター
（林中）

来賓 児玉典子さん（反貧困セーフティネット・アルプス世話人、松本市在住）

内容（貧困問題を通して地域社会を変える。反貧困ネットの活動から）

時節柄 飲食は行いません。

部内資料

発行責任者 太田 勅 (62-5727)
議員連絡先 薄井 孝彦 (62-5093)
編集責任者 服部 久子 (62-4357)
山本 久子 (61-1066)

新しい年を迎えて

災害に強いまちづくりが重要課題に！

新しい年を迎えました。日頃のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

元旦に最大震度7を記録した能登半島への大地震が発生しました。被害を受けた多くの住民の皆さんが地域の集会所等に避難しており、体育館に組み立て式のテントが張られ、ストーブを並べて暖を取っている様子が放映されていました。一日も早く元の生活に戻れるよう政治は力を尽くしてほしいものです。

被災者の皆さんは

①避難生活の改善、しつかり声を聞いて支援を、災害関連死を出さない手立てを、②住宅・土砂崩れなど二次被害の防止を、③津波、液状化現象の実態を正確に把握し、ニーズに即した支援を、④漁業者を含めた地場産業の被害をつかみ再建へ向けた取り組み確立を、等要請しています。

震災から3週間経つても被害の全体がつかめていません。大地震の全容を明らかにすることが必要ではないでしょうか。

活断層が各地に存在する日本列島ではいつでも、どこでも地震が起きる可能性があります。

3/10投票 町長選挙に望むこと

池田町町長選挙が3月10日に行われる予定です。いま池田町では財政問題や社口原農業継続と町農業の振興問題、保育園統合問題、会染西部の非農用地利用問題、高齢者や免許証返納者の交通問題、ゴミ集積所問題など課題が山積です。

農業問題では昨年12月4日に、農業振興協議会より最終答申が発表されました。この答申では農業振興のため、法人を立ち上げ新たなシステムを創るとしています。

そして法人設立を本年2月として、農業者に1株5万円の出資を求めています。

町はこの答申を何の議論もせず、そのまま実施するようですが、大いに疑問です。

(浜田見 太田勅)

す。災害に備え、災害に強いまちづくりを進めることは国政の重要課題です。私たちも教訓に学んで常日頃の準備をしていかなくはと強く感じています。

(中島 牛越邦夫)

高齢者の足の確保を望みます。運転に自信を失ったり、子供たちから免許の返納を求められ困っている事例がたくさんあります。車に乗れないとどこにも行かないのが現実です。

電話をかければ自宅まで迎えに来てもらえたらどんなに助かることでしょうか。

松川村では、交通手段を持たない高齢者の方を対象にした「生活密着型福祉バスりんりん号」を無料で運行しています。

利用者の自宅から、スーパー・金融機関・病院・医院・商店等を巡回しているそうです。

池田町でも実態調査を行って実施していただきたいと思っています。



(3丁目 山本久子)

コラム 有明

年始早々厳しい現実に向き合っている。特に能登半島地震については、被災された方々への一刻も早い救援

と復旧が必要だし、将来に希望の持てる施策が求められている▼「愚か」という言葉がある。広辞苑には知能、理解力が乏しい、バカ、あほうとある▼「抑止力」という口実でまったく生産性のない人殺しの軍備増強に年間8兆円もの予算を使うという。そのお金を災害復旧に回したらどれだけ早く被災者を救えるだろう▼海外でも飽くことなく戦争が続けられ、兵器、砲弾あげくは人類を滅ぼしかねない核兵器の開発と湯水のように金を使っている▼資本主義社会は地球の歴史を1年とすると僅か1秒にしかならないという。大量生産、大量消費、大量廃棄のたつた1秒の社会が地球を存亡の危機にさらしている。まさに「愚か」ことではないだろうか▼松本、安曇野には龍である母の背中に乗って湖を突き破り人の住める平にしたという泉小太郎伝説がある。辰年にあたり大きな龍に多くの人が乗り世界中の「愚か」を正すという夢を見るのはどうだろうか。